



学校教育目標：めざします！生き生きと楽しく笑顔あふれる学舎（まなびや）を！！

励まし支え合い認めあう力 自分も他者も大切に 校長 羽田 敏隆

季節外れの暑さが続いていましたが、秋を乗り越して一気に寒い季節が到来した感があります。新型コロナウイルスの感染状況は落ち着いているものの、インフルエンザがみたけ台中でも流行しております。感染予防対策、栄養、休養を大切に、健康に過ごしたいものです。

11月26日(日)に「青葉区民マラソン」が行われました。朝から時折冷たい雨が降るとても寒い1日でしたが、本校の吹奏楽部が元気の出る演奏で区民ランナーを沿道から応援しました。手がかじかみ唇も震えながら頑張った演奏は走る方々を勇気づけていたと思います。「ありがとう」の声を返したり手を振って応えたりするランナーから元気をもらう場面もありました。



小雨の中の演奏にあたっては雨除けのテントを保護者の方が急遽準備してくださりました。子どもたちの貴重な経験・頑張りはこのような支えがあっ



こそでした。ありがとうございました。また区民マラソンが無事に行われるように地域・ボランティアのたくさんの方々が警察と協力して安全面に配慮していることも実感しました。小さな力の結集が大きな力を生みます。

ペップトーク(PepTalk)をご存じですか？ やる気を引き出す励ましの言葉。WBCで大谷翔平選手が決勝戦の前にメンバーに言った「憧れるのをやめましょう」でも話題になりました。

- ①受容(事実を共感し受け入れる)
- ②承認(ポジティブに変換し認める)
- ③行動(具体的な行動を促す)
- ④激励(短い言葉で後押し)

大谷選手の言葉

- ①「メジャーの有名選手に憧れてしまう」という気持ちを受容する
- ②「僕らはトップになるために来た」と努力を承認する
- ③「今日1日だけは憧れを捨てて勝つことだけを考えていきましょう」と具体的に伝える
- ④「さあ行こう！」短い言葉で激励する

というフレームで作られるそうです。

特に大切なのが①受容と②承認。子どもとの関係の中で、受容と承認の言葉を日常から繰り返すことで信頼関係が作られ、心が満たされていることが大切。これは大人との関係でも同じですね。

相手との信頼関係を結ぶのに行き詰っているとしたら、それは自分自身にゆとりがないからかもしれません。自分自身への「ペップトーク」で自分の心をケアし「自尊感情」を高めましょう。

全校道徳(中面参照)でも北村さんが同じ思いを伝えてくれました。私には印象深い言葉がたくさんありました。人によって受け止め方、感じ方はさまざまで、それでいいと思いますが、生徒の皆さんはどうでしたか？

- 人と関わることなしに自尊感情は生まれない
- プラスの言葉「ありがとう」○人や社会への「貢献感」が大切
- 「自尊感情」=ありのままの自分を大切にする「自己肯定感」
他者と比べての「優越感」ではない
- 「愛」の反対は「無関心」
- 誰かにいらだつときは自分の心がつらいとき 自分を大切に

今年も残すところあと1か月となりました。2024年の良きスタートに向けて、2023年を振り返ってみましょう。今年はどうな1年でしたか？来年をどのような年にしたいですか？

1995年から始まった「今年の漢字®」。毎年年末に一年の世相を表す漢字一字を募集し、12月12日の「漢字の日」に京都・清水寺で発表しています。皆さんはどの漢字を選びますか？

ちなみに2022年は「戦」(ロシアのウクライナ侵攻 スポーツでの挑戦・熱戦などから)、

2021年は「金」(東京オリンピック・パラリンピックでの金メダルラッシュなどから) でした。

< 青葉区個別支援学級合同宿泊学習 >

10月26日(木)～27日(金)に、青葉区中学校個別支援学級合同宿泊学習会がありました。

当日は、秋らしいさわやかな天気のもと、バスに乗って愛川ふれあいの村に出かけました。コロナ禍で4年間実施できていなかった行事ですが、今年度は区内の仲間と、様々なレクリエーション活動や係活動等を通して、普段の生活で培ってきた力を発揮することができました。他校の仲間や先生方と良い思い出をつくることができました。



< 青葉区個別支援学級チャリティコンサート >

11月15日(水)に、青葉区中学校個別支援学級チャリティコンサートが青葉台中学校で開催されました。文化庁が推進する「芸術家の派遣事業」として、プロの音楽家の方が、目の前で演奏をしてくださいました。

音楽や楽器の知識や、宿泊学習のキャンドルファイヤーで歌った「Believe」の生演奏など盛りだくさんの内容でした。

さらに、プロの方を「指揮者」として演出する体験まで！はじめての体験に、大人も子どもも大興奮の1日でした♪



< オープンスクール >

11月2日(木)、オープンスクールを実施しました。

みたけ台小学校、鉄小学校から6年生が来校し、授業の様子を見学したり、部活動の体験をしたりしました。春からの中学校進学に向け、小学生には中学校の様子を知ってもらう機会になりました。

部活動体験では、各部の部長が中心となって、小学生に楽しく、安全に参加してもらえよう、練習内容や活動内容を考えました。先輩から真剣に学ぶ小学生の姿や、下級生に優しく声をかけ丁寧に教える中学生の姿はとても温かく、充実した交流ができました。



<全校読み聞かせ>

11月6日(月)1校時に、図書ボランティアの皆様による、全校読み聞かせがありました。

様々な工夫を凝らした読み聞かせに、生徒たちはとても集中して聞き入っていました。

図書ボランティアの皆様、ありがとうございました。



<SEPRO>

11月21日(月)・22日(火)にSEPROを実施しました。SEPROは通常1クラス1名のAETで授業を行うところ、1クラス6名で授業を行うものです。写真のように、AETをグループに一人ずつ迎え、英語によるコミュニケーション活動を行いました。AETは7分を目安に移動し全グループの生徒と対面しました。

子どもたちはこれまでに学んできた英語を駆使し、わくわくとドキドキに満ちた1時間を過ごしました。

この行事がもっとがんばる気持ちを育てるきっかけになればよいと英語科職員一同願っています。



<全校道徳>

11月20日(月)に、ルポライターでノンフィクション作家の北村年子さんを講師にお招きし、全校道徳を行いました。

事前にホームレスに関するDVDを視聴し、それぞれが自分なりの感想や意見をもって臨んだ講演会。ありのままの自分を受け入れて自分を大切にすること、自分を他人と比べてけなさないことなど、自己尊重感情とは何か、自己尊重感情を高めるためにはどのようなことが大切かを、教えていただきました。



(生徒の振り返り)

○僕が一番驚いたのは、ホームレスの人たちが若い人などに襲撃されたり、ひどい扱いを受けたりすることがあるということです。このようなことは絶対あってはならないと思ったし、すごく胸が痛くなりました。北村さんのような方の話を聞いた中・高生がこのようなことを繰り返さないようになっていけばいいと思います。

○自分そのものが価値があって意味があるものだということが今回よくわかりました。大切なのは自分を好きになることで、自分を好きにならないと他人のことを思えないから、まずは自分の内側から好きになった方がいいんだな、と思いました。